

4 質の高い教育を
みんなに



国際交流協定校で 英語研修と課外学習

留学生・国際
交流センター

協定校であるサラワク大学の英語専門の教員3名による、アクティブラーニングを取り入れた英語研修を実施し、農学部、国際学部等の学生20名が参加。また英語での総合的スキル・運用能力を高めることを目的に現地の学生との異文化交流を促進し、各学生の専門領域の見地から現地で調査を行い、帰国後英語で報告を行う。



英語研修授業の様子



サラワク文化村

【担当】

留学生・国際交流センター
留学生・国際交流センター
事務室

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



国際インターンシップ

留学生・国際
交流センター

年に2回、夏休みと春休みに海外の企業や教育機関、NGO等でインターンシップを実施。全学部の学生約20名が参加し、各学生の関心のあるインターンシップ先で2週間から5週間の実習を行っている。これまでは、タイやシンガポール、マレーシア、カンボジア、台湾、ベトナムの保育園や大学、スリランカのNGOや大学等で実施し、グローバルな職業体験を提供。

【担当】

留学生・国際交流センター
留学生・国際交流センター
事務室



カンボジアのホテルでサービス業務



タイの日系企業の工場実習



ベトナムの大学実習

4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



外国人留学生の受け入れ

留学生・国際
交流センター

アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北米から現在約250名の留学生を受け入れている。日本人の学生と同様に質の高い教育を提供するだけでなく、日本語教育の提供や地域との交流、学費免除等、様々な活動を通して外国人留学生の日本での生活のサポートを行っている。

【担当】

留学生・国際交流センター

湯本浩之研究室

留学生・国際交流センター事務室



新規来日留学生の歓迎会



地域との交流会で着物を着て茶道を体験

4 質の高い教育を
みんなに



グローバル教育論 (国際学部専門科目)

留学生・国際
交流センター

地球社会は、開発や環境、人権や平和などの人類共通の問題に直面しています。

この授業では、こうした地球的諸問題の解決に向けた教育の役割や可能性を考えるとともに、グローバル教育をはじめ、持続可能な開発のための教育（ESD）などの理念や実践を学びます。



グループに分かれてのディスカッション



ミニボードを使った個人ワーク

【担当】
留学生・国際交流センター
湯本浩之研究室



ワークショップで学ぶ 変わりゆく現代社会の中の私たち (基盤教育・総合系科目)

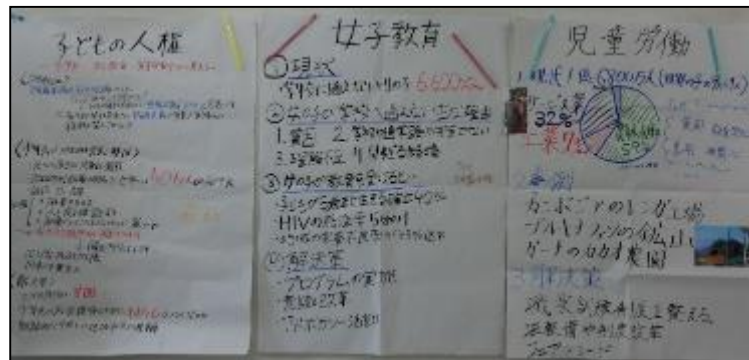
留学生・国際
交流センター



この授業では、アクティブ・ラーニングを通じて、グローバル化する地球社会と私たちの日々の暮らしとのつながりや、現代社会が直面する貧困や格差、環境破壊や人権侵害など、地球規模の課題について考えます。

★2016・2017年度 宇都宮大学ベスト・レクチャー賞 受賞

【担当】
留学生・国際交流センター
湯本浩之研究室



グループワークの成果物(問題解決に向けたアクションプラン)



グループ・プレゼンテーション

Globalization and Society (全学科目・Learning+1)

留学生・国際
交流センター



この授業では、グローバル化が急速にすすむ地球社会が私たちの地域や暮らしに及ぼす影響、そして、私たち一人ひとりの取り組みが地球社会に与える影響や変化など、地球と地域、世界と私の関係やつながりを知り、問題解決に向けた、方策を提案します。

【担当】
留学生・国際交流センター
湯本浩之研究室



グループワークの様子 (左:ブレイン・ストーミング



中:簡易KJ法による現状分析



右:プレゼンテーションの準備

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



災害に強いコミュニティづくり (基盤教育)

留学生・国際
交流センター

この授業では、災害について知識を得ることや国内外の被災地の事例や取り組みから学ぶことを通して、災害や地域コミュニティについて主体的に考え、行動する力を身につけることを目的としています。授業は、講義や解説に加えて、防災分野の実践で活動しているゲストスピーカーによる講義、宇都宮地方気象台や栃木県防災館での課外授業、災害図上訓練や避難所運営といったアクティブ・ラーニングを通じて行っています。

【担当】

留学生・国際交流センター
飯塚 明子



宇都宮地方気象台、観測露場での解説



栃木県防災館での災害体験

4 質の高い教育を
みんなに



Risk Management

(全学科目・Learning +1)

留学生・国際
交流センター

This course introduces risk management concepts with the practical cases in and out of Japan. Three aims of this course are 1. to acquire an understanding of the fundamental principles of risk management and risk communication, 2. to critically analyze the actual cases, and 3. to communicate in English through listening, writing up reports, and presenting themselves.

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



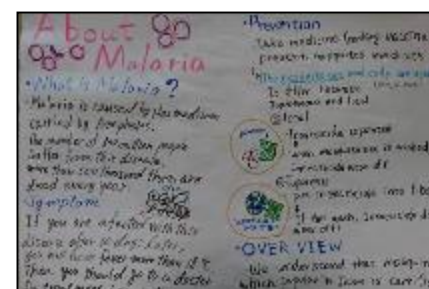
【担当】
留学生・国際交流センター
飯塚 明子



宇都宮地方気象台による講義



四川大地震の事例発表



マラリア(蚊を媒体とした感染症)の事例発表

4 質の高い教育を
みんなに



Disaster Studies (専門科目・演習)

留学生・国際
交流センター

Disaster risk is the consequence of the interaction between a hazard and the characteristics that make people and places vulnerable and exposed. This course introduces basic principles of disaster risks, hazard, and vulnerability. In addition, students will learn from various actors who engage in disaster response, recovery, and preparedness in and out of Japan.

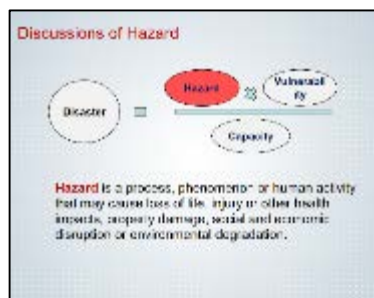
13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナシップで
目標を達成しよう



【担当】
留学生・国際交流センター
飯塚 明子



災害リスクについての議論



ベトナム中部の事例提供



国際協力機構(JICA)専門家による講義